

我が社の

インタビュー

ホープ

―入社と、その時の印象は。

入社したのは平成11年。祖父が大工だったことから大工を目指していたが、職業訓練の学校で左官を選び、今の会社を選んだ。入社時に先輩たちからは、建設業界は不況だと言われていた。

―入社して6年間は現場で作業などを行っていた。初めのころは、材料の準備や先輩の手元などを行っていた。現在は、元

―仕事内容は。入社して6年間は現場で作業などを行っていた。初めのころは、材料の準備や先輩の手元などを行っていた。現在は、元

―手掛けてきた仕事、また印象に残った現場は。広島市内で事務所の工事に携わったことが特に印象に残っている。そこ

では、壁などに赤い漆喰（しつくい）を使い、仕上げで施工したが、その現場が第7回（平成24年）日本漆喰協会作品賞に選ばれた。施工にあたっては、

仕上り関係の施工に携わりたいと思っている。昔は5年で職人といわれていたが、今では10年ぐらいでないと呼べなくなっている。年数だけではできないことも多い。漆喰

―後輩に一言。何事にもチャレンジする気持ちを持ってもらいたい。現場の責任者には若い人もいるが、初めから完璧にできるわけではないので先輩に頼ってしまふこともあるが、苦労してレベルアップしてもらいたい。怒られたり失敗したりするのが嫌だと言っているのを聞くこともあるが、会社もサポートしてくれるので、作業に携わり、完成した時の達成感を味わってもらいたい。



左官一級技能士、職業訓練指導員。好きな言葉は『ありがとう』。趣味は子供の野球の試合観戦。家族は妻と息子3人の5人暮らし。昭和56年11月6日生まれ。岩国市在住。

下野工業(株)

工事長

日高 達司さん

経験積みスキルアップ

―今後の夢、目標は。今抱えている仕事の多くは塗装やタイルの下地作業など表に出てこないものが多いため、漆喰や洗い出しなど表層に出る人が協力してくれた。

や珪藻土（けいそうど）、聚楽（じゅらく）などは左官が塗って仕上げなので、直しなどが効かず気を使い、経験しなければ分からないことも多いため、スキルアップにつなげ

らさらに進化しよう！

失敗を恐れず何事にもチャレンジを

【会社概要】

下野工業(株)▽本社▽岩国市三笠町2-4-45、電話0827-122-6188▽営業所▽周南、広島▽創業▽明治40年▽設立▽昭和39年10月▽代表取締役社長▽下野賢一▽従業員▽71人▽業種▽左官工事▽スローガ▽「まかせて安心、使って便利！ 楽しみながらさらに進化しよう！」